

国語

注 意

- 一
試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないで下さい。
- 二
この問題冊子は全部で十五ページあります。
- 三
解答用紙の所定欄に受験番号とマーク、氏名とフリガナを必ず記入して下さい。
- 四
解答用紙には問題番号が1から50までありますが、解答に使用する問題番号は1から42までです。
- 五
解答時間は六十分です。
- 六
解答用紙は必ず提出して下さい。
- 七
問題冊子は持ち帰って下さい。

受験番号欄記入例

2026

受 験 番 号				
1	9	7	0	5
0	0	0	●	0
●	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	●
6	6	6	6	6
7	7	●	7	7
8	8	8	8	8
9	●	9	9	9

数字の位置に注意してマークして下さい
ゼロは一番上にあります

マーク式解答欄記入上の注意

1. 解答は、HB の黒鉛筆を使用して丁寧にマークして下さい。
2. 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで、きれいにマークを消して下さい。
3. 所定の記入欄以外には、何も記入してはいけません。
4. 解答用紙を汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

マーク例

良い例	●	悪い例	○	⊗	⊙
			薄いマークは読めません		

I 次の問題文を読み、後の問いに答えなさい。

情報過多の時代に消費者は、ブランドだけではなく消費者の口コミも調べるようになってきているが、それで意思決定が行いやすくなっているわけではない。このジレンマ^aをどのように解決すればいいのだろうか。

これについて、僕たちの研究室は二〇二三年にオンライン調査を行っている。対象は二〇代から三四歳の男女六一八名であり、ネットリサーチ企業のモニターを利用した。この調査によると、「商品に関する情報が過剰なほど出回っている」という質問に「そう思う」と答えたのが五七・一％であるのに対して、「企業が発信する情報は一般的に信頼できない」という質問に「そう思う」と答えたのは二一・四％に過ぎなかった。つまり、Xのだ。

では、どのような場合に口コミが参照されているのだろうか。一つは、「商品を選ぶ際に慎重に検討する人は、多様な情報を参照する」というケースだ。具体的には、「気になった商品や、覚えておきたいと思った商品の情報は、スクリーンショットやメモ帳などでスマホに保存するようになっている」という傾向にある人は、口コミの評価が良いほうを選ぶとか、逆に口コミの評価が悪くて購入をやめたことがあると回答した。ただし^イこうした人は、公式情報で商品の説明をよく読んだり、他の商品と比較したりする傾向も強かった。こうしたことから、スマホに情報を保存するという行為は、気になった瞬間にその場で買ってしまうのではなく、後からじっくり情報を調べるために保存しているのだということが分かる。実際、こうした人は商品選択の際に「時間をかけて検討するほうだ」という回答も多かった。

もう一つのパターンは、「流行に敏感な人は、口コミや話題性に影響

を受ける」というものだ。具体的には『新作』や『期間限定』という言葉があると気になってしまう」という傾向にある人は、「SNSで話題になっていた商品を欲しくなったことがある」「周囲の人からの良い評価を聞いて欲しくなったことがある」と回答したのである。またこうした人は「テレビで取り上げられた商品を欲しくなったことがある」と回答する傾向にもあり、全体的にミーハーなタイプだと言えるだろう。

以上のような調査結果から僕たちは、人々が口コミなどの情報を参照する際にも、異^ウなった二つのメカニズムがあるという仮説を立てた。すなわち、慎重な人が口コミを参照する場合と、ミーハーな人が口コミを参照する場合では、その目的や影響の受け方が違うのではないかということだ。

まず、消費者が情報に影響を受けるメカニズムとしてもっともよく知られている「AIDMAモデル^エ」を振り返ってみよう。これは「注意(Attention) → 興味(Interest) → 欲求(Desire) → 記憶(Memory) → 購入(Action)」という流れで広告が消費者の行動を促すとするモデルであり、広告効果のもっとも古典的なモデルとされる。このモデルは現在では非常に単純なものであると考えられており、もはや主流の考えではないが、ここではあえてAIDMAモデルをメディア的な観点から考えてみよう。

AIDMAの中でメディアに特に関連するのは「注意」と「記憶」だ。それぞれについて見ていくと、たとえば「注意」については、情報過多の環境の中で、多くの企業、多くの広告が消費者の注意を惹^ヒこうとヤツキ^ブになっており、逆に消費者は広告をウツトウ^クしい、うんざりするものだ^ニと考えるようになってきている。一方で、ソーシャルメディアを中心として、多くの人々の注目を集める情報もある。それらは多くの人の目に留

まることによって、拡散されたり、おすすめにあがったりする機会が増え、さらに多くの注目を集めることになる。

つまりここには「注目される情報が拡散され、拡散された情報がさらに注目を集める」というループが存在している。僕たちはこのメカニズムを「注意(Attention)」と「拡散(Spread)」のループであるとして「ASループ」と名付けた。

では記憶についてはどうか。情報があふれかえっており、また次々と最新情報にコウシン^dされていく状況では、人は自分の気になった情報すら、いちいち記憶しておくことが難しくなる。このような場合に行われるのは、自分が覚えておきたいと思った情報を一時的に記録しておいて、あとからその情報や、それに関連する情報を検索するということだ。先にあげた「気になった商品をスマホにスクリーンショットとして保存して、後から公式サイトの情報を検索する」といった行動がそれに当たる。僕たちはこうした行動を「記憶(Memory)」と「検索(Search)」のループであるとして「MSループ」と名付けた。

ASループとMSループは、どちらか一方が優勢であるとか、人によって一方しか行わないというものではないと僕たちは考えている。むしろ、図にあるように、情報源の差によって使い分けられていると考えるべきではないか。すなわち、新商品の情報のように口コミやレビューが少ない商品の場合、その商品を購入するかどうかの決め手は「話題になっているかどうか」ということになる。そのため、ASループ的なメカニズムで消費者は意思決定を行う。だが既に口コミやレビューが多くチェック^eされている商品の場合、それらの情報も意思決定において参照されるのだが、情報量が多いために慎重に検討する必要がある。だからMSループのメカニズムで意思決定が行われるのである。

今のところこの「ダブル・ループモデル」^カは仮説の域にとどまっており、必ずしも学術的に安定した知見とは言えない。ただここで強調しておきたいのは、消費者が、企業の情報よりも口コミを信用するようになっているとか、ソーシャルメディアで話題になった情報に影響されて商品を選ぶようになっていった見方は、ごく一面的なものに過ぎないということだ。

そもそも、なぜ人は商品を選ぶ際に多様な情報源を参照したり、ブランドバリューのある商品を選んだりするのだろうか。それは、その商品が購入前には価値の分からない、あるいは購入した後でもその価格に見合う価値を持つているか分からないものであるからだ。このような特性を持つ商品は「経験財」^キとか「信頼財」と呼ばれており、ブランドバリューの有無が商品選択に大きな影響力を持つとされる。具体的には、飲食やエンターテインメントなどの無形商材やサービスがそれに当たる。

どうやら消費者は、事前に価値の分からない商品が身の回りに増えるにつれて、その商品にまつわる「情報」に敏感になっていくようだ。よく「ネットの情報や企業の都合に、消費者が踊らされている」という風に言うが、そもそも消費者が「踊っている」と思っているのは広告業界の中の人間だけかもしれない。一人ひとりの消費者は、自分の周囲の情報環境に合わせて参照する情報をアレンジしながら、それなりにしっかりと考えて商品を選択しているのだ。

(鈴木謙介「フェイクニュース時代のブランド」、出題上の都合により一部改変)

問一 二重傍線部 a「ジレンマ」の意味として最も適切なものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 魅力的な選択肢が多すぎて選択に迷っている状況
- ② 決断力に欠け、物事を解決することができない袋小路の状況
- ③ どちらを選んでも不利な結果になる板ばさみの状況
- ④ 意見が対立したまま、行き詰まって身動きが取れない状況

問二 二重傍線部 b・c・dと同じ漢字を用いるものを、次の①～④からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- ② b「ヤッキ」
 - ① 現世リヤク
 - ② キ力居くべし
 - ③ 面目ヤクジョ
 - ④ リンキ応変
- ③ c「ウットウ」
 - ① 先輩のクントウを受ける
 - ② カラクサ模様
 - ③ 情報がツツぬけになる
 - ④ 物価コウトウ
- ④ d「コウシン」
 - ① コウシで囲う
 - ② ヨフカシをする
 - ③ コウシンに託す
 - ④ 経営コウリヨウ

問三 二重傍線部 e「チクセキ」の漢字表記で用いられる部首を、次の①～④から一つ選びなさい。

- ⑤ ① にんべん ② のぎへん ③ きへん ④ いとへん

問四 傍線部ア「どのように解決すればいいのだろうか」という問いに

対する筆者の結論はどのようなものだと考えられるか。最も適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

- ⑥ ① 企業の発信する情報でも口コミでも、情報量を増やすことで、正しい情報に触れやすくなる環境を整えることが必要である。
- ② SNS上の情報やインフルエンサーが発信する情報を主体的に収集し、企業が一方的に発信する情報にとらわれないことが必要である。
- ③ 企業やマスメディアのような信頼できるメディアを見きわめ、消費者の口コミやレビューの情報に踊らされないことが必要である。
- ④ 単純に情報量を増やすのではなく、どのような目的で、どのような情報に触れようとしているのかを消費者が理解することが必要である。

問五 空白部 Xに入る最も適切な言葉を、次の①～④から一つ選びなさい。

- ⑦ ① 情報過多となることによって、消費者は企業が発信する情報に強い不信任を抱いている
- ② 情報の氾濫の前に、消費者はSNSや口コミの情報の方を信頼して意思決定している
- ③ 情報過多であるからといって、必ずしも企業の情報が信用を失っているわけではない
- ④ 情報過多の時代には、企業の情報もSNSの情報も消費者の信頼を完全に失っている

問六

傍線部イ「こうした人」の典型的行動を説明した次の(A)～(D)のうち正しいものはいくつあるか。最も適切なものを続く①～⑤から一つ選びなさい。

- (A) 選択に際して即断即決せず、一定の熟慮プロセスを踏む。
 (B) SNSだけでなく、より客観的に思われる情報にも目を通す。
 (C) 友達との会話で話題になった店に、一緒に行く計画を立てる。
 (D) 企業の公式情報、口コミ、比較サイトなど、幅広く調べる。

8 ① 0 ② 1 ③ 2 ④ 3 ⑤ 4

問七

傍線部ウ「異なった二つのメカニズムがある」という仮説を立てたのはなぜか。最も適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

- 9 ① 消費者が情報過多を感じる一方で、企業の情報を「信頼できない」とはしていないため、ネットや企業に「消費者が踊らされている」といった図式では説明しきれないことが示唆されたから。
 ② 調査からは「ミイハータイプ」と「慎重に検討する人」という対立的な消費者行動のパターンが見出されており、これらの対立的な行動はAIDMAモデルでよく説明できると考えられたから。

③ 商品が飽和した現代では「経験財」や「信頼財」のようなその価値が不明瞭な商品であふれており、AIDMAモデルは複雑な現代の情報環境を分析するうえでなお有効性を保っているから。

④ AIDMAモデルは現代のメディアをめぐる環境をとらえるためにはすでに古典的に過ぎるものであり、現代の即物的な欲求や衝動的な購入のあり方を追求する新たな枠組みが必要だったから。

問八

傍線部エ「AIDMAモデル」についての筆者の考えを説明したものとして最も適切なものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- 10 ① AIDMAモデルは今でも有効性を失っておらず、ダブル・ループモデルはAIDMAモデルに対して補足的な概念に過ぎないと言わなければならない。

② AIDMAモデルは広告主を主体とした古典的モデルであり、ダブル・ループモデルは消費者を主体とした分析の枠組みである。

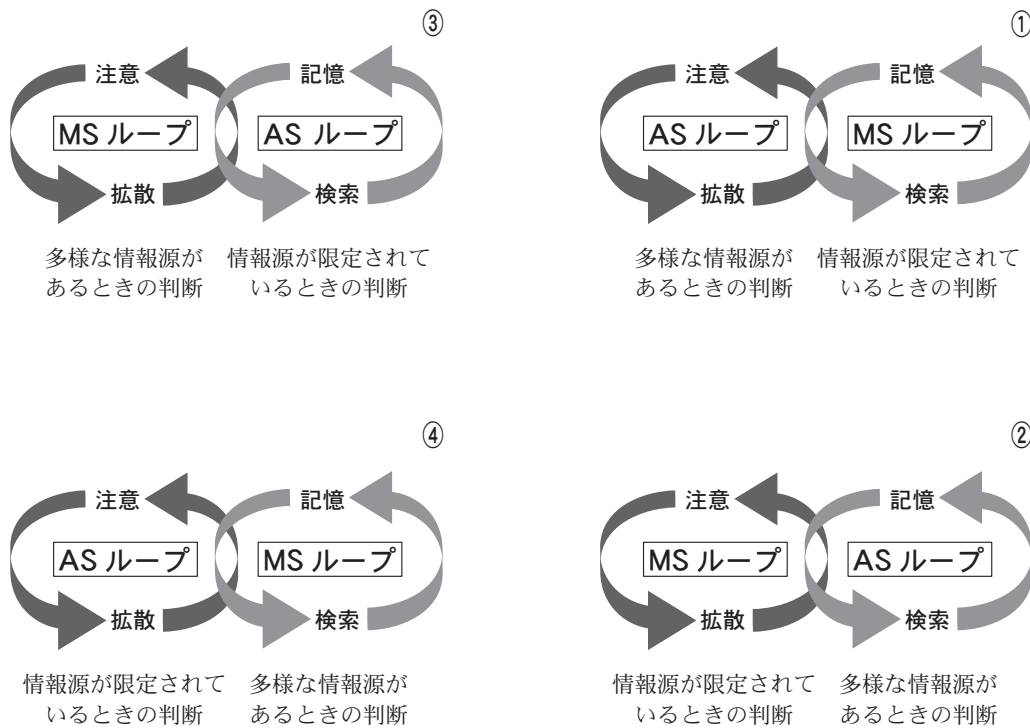
③ AIDMAモデルは企業の情報を慎重に捉える人を重視する古典的な枠組みであり、ダブル・ループモデルはSNSによる情報拡散を捉えるための最新の受容モデルである。

④ ダブル・ループモデルはAIDMAモデルを批判的に乗り越えるために、現代的な消費者に照準を据えた分析モデルである。

問九 傍線部オ「図にあるように」とあるが、この場合の「図」として

最も適切なものを、次の①～④から一つ選びなさい。

11



問十 傍線部カ「ダブル・ループモデル」と傍線部キ「経験財」とか「信頼財」について、以下の問いに答えなさい。

「経験財」とか「信頼財」に当てはまらないものはどれか。最も適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

12

① 衣料品の通信販売

12

② 弁護士の特許サービス

③ テレビなどの家電製品

④ 映画・演劇・ライブ

(2) 「ダブル・ループモデル」に基づく「経験財」とか「信頼財」の販売促進として最も適切なものを、次の①～④から一つ選びなさい。

13

① ASループの観点から数量限定キャンペーンを展開し、MSループの観点から詳細な商品情報を発信することで消費者の「すぐに買いたい」衝動をかきたてる。

② ASループの観点からインフルエンサーを介した情報の拡散を行い、MSループの観点から長期利用者の口コミやレビューの数を増やしていく。

③ ASループの観点から商品情報ページに共有ボタンを設置して情報のシェアを促し、MSループの観点からSNSの投稿キャンペーンを行って情報を拡散する。

④ ASループの観点から期間限定の先行体験キャンペーンを行い、MSループの観点からインフルエンサーや有名人による体験シェアを展開する。

問十一 問題文から読み取ることができる筆者の考えとして最も適切な

ものを、次の①～④から一つ選びなさい。

14

① 購買に慎重な層と、流行に敏感な層は、同じ「口コミ」を参照する行動を取っていても、その動機やタイミング、参照の仕方等が異なる。このことが示唆するのは、「消費者が踊らされる」ことがないようにメディアをコントロールすることの重要性である。

② 現代の消費行動に対する調査結果から、人々が口コミなどの情報を参照する際にはダブル・ループモデルに依拠していることが明らかとなった。このモデルは、AIDMAモデルをメディア的な観点から発展させたものである。

③ 「経験財」や「信頼財」の選考にあたっては企業が発信する情報よりも情報環境そのもののほうが購買のための意思決定に強く影響していると言える。つまり、現代において消費者は情報によって不確実性をコントロールしなければならないのである。

④ 現代の消費者は広告やSNSの情報に踊らされているように見られるかもしれないが、実際には消費者は自らの関心や判断基準に応じて情報を比較し、主体的に選択行動をとっている。情報は混乱と同時に検討の契機を与えてくれていると言える。

Ⅱ 次の問題文を読み、後の問いに答えなさい。

家の裏手にある早咲きの白梅が、満開になった。七メートルはある大木で、家の敷地と、眼下の公園とのあいだの急斜面に生えている。だれも手入れをしないから、枝は伸び放題、去年絡んだ蔓草の枯れた茎があたりこちにぶらさがっている。

この傾斜地は、河岸段丘の段と段の、階段で言えば蹴上げにあたる部分なので、ところどころ道路に分断されつつ、带状に横へ長くつづく。市有地なのだが、市のウケオイ業者が草木の整備に訪れることはあまりなく、相当な樹齢と思われる大きなケヤキやヒノキの合間に、鳥が種を運んできたのだろう、ビワ、クサギ、ツバキなどが好き勝手に葉を広げ、さらにその下にシユロやササ、各種の草が生い茂り、つまりは、藪となっている。

梅雨のはじまるころになると、わたしは友人たちと藪に入り、野生のビワの実を収穫する。いま花が咲いているウメも、ビワと同じころに小さな実をたくさんつけるので、要る分だけ穫る。熟れて落ちたウメの実が地面を埋めて、羽虫がたかり、梅酒の匂いが立ちのぼるなか、カゴいっぱい**イ**のビワとウメをもって斜面をのぼり、山分けにする。

家に接して空き地があるのは、もしそこに建物が建った場合には環境が大きく変わる、ということだから、土地を手に入れるときに、そのような可能性を想像してみたけれど、この急斜面の市有地に関しては、使い途があるようには思えなかった。どう「開発」するにしても、細長い斜めの土地は、整地の手間がかかりすぎる。ここはきつと、使えない、使われない場所に留まるだろう。市による多少の草刈りや枝打ちを挟みつつ、さまざまな種類の植物が勝手に芽吹き、花を咲かせ、実や葉を落とし、

日光や雨や周囲の植物との位置関係、その他無数の条件によって、勢いをつけたり、弱ったり、枯れたり、再生したりを、繰り返すはずだ。

庭師・修景家のジル・クレマンに『第三風景宣言』(笠間直穂子訳)という小著がある。わたしが最初に買ったフランス語原書は二〇一六年の版で、A5より少し小さい判型、全六十ページ、アツガミの表紙にホチキス止め。だれかが勝手に印刷して、綴じて、ばらまこうとするかのような佇まいだ。版元を調べると、予想どおり、アソシエーション法(一九〇一年法)に基づく非営利団体として設立されている。

これは、政治的小冊子のつくりだ。現に、この文書の著作権は転載自由の「コピーレフト」が適用されている。インターネット上で全文のデータを入手でき、翻訳にも許諾は要らない。まさに、**A** ために書かれたマニフェストである。

「第三風景」という概念の由来については、本文中に説明がある。曰く、「第三風景は、第三身分に依拠する」。シエースが一七八九年に発表したパンフレ『第三身分とは何か』は、第一身分の聖職者、第二身分の貴族に対し、第三身分とされてきた平民の権利を主張して、フランス革命へ向かう世論を加速させたが、クレマンがここで宣言する「第三風景」とは、「人間による介入のなされないすべての場所」を指す。

この場合、「第一」や「第二」にあたるのは、人間が介入するすべての場所だから、都市や、農地、庭園なども入る。ただし、都市のなかでも、建築物や舗装道路のあいだに「第三風景」は点在している。道路脇や河畔の草地、手入れされない空き地。コンクリートの隙間に生えた雑草も、極小の第三風景として捉えられる。これらをつないでいくと、都市・郊外・農村といった区分けとは異なる、不定形な第三風景の地図ができる。

こうした土地は、だれもが目にしなから、大抵は見過ごしている。もしくは、個々の場所には気づいていても、ある特徴をもった集合とは見なさない。第三風景、と名づけることで、それが見えるようになる。シエースが、第三身分という言葉によって、フランス国民すべてを名指し、いまだ何者でもない、しかし何者かになろうとする存在として規定すること、革命の主体たるべき集合を可視化したように。

第三風景の特徴は、生物多様性である、とクレマンは言う。B。

舗装した場合は当然だが、農地として使う場合も、かぎられた種類の作物を育てるために余計な草や虫を排除するのだから、多様性の観点からいえば、貧しい。美しく整えられた庭園も同様だ。

あらゆる出自の種を受け入れ、刻々と変化しながら、最終的には極相としての森林へと向かう第三風景は、企業なり自治体なりが価値を引き出そうとすれば、たちまち本来の豊かさを失う。真の環境保全を目指すなら、野放図な放棄地の野放図さそのものを守るべきだ。それは翻って、人間による土地の管理と収益化がなにをもたらしってきたかを見つめなおす契機ともなる——『第三風景宣言』の主張は、おおむね、こんなふう

に要約できるだろう。

二〇一五年の来日時に、クレマン本人がこの「第三風景」概念について解説した講演が書籍化されている（『庭師と旅人』秋山研吉訳）。これを読んでいて、傾斜地への言及に目が留まった。かつてヨーロッパでは、ヤギやウシなどの放牧に傾斜地を利用していたため、こうした土地は丈の低い草地の状態が保たれた。ところが、農作業が機械化され、家畜を放牧しなくなったことから、傾斜地は放棄され、森林と化した、という。

たしかに、昔の光景として、傾斜地の利用を考えると、日本でも放牧はおこなわれていたし（宮沢賢治の「種山ヶ原」、棚田や果樹園を

つくることもできる。秩父の山あいでは、急斜面を開墾して、つんのめるような姿勢で畑を耕す技が共有されていた。わたしが、敷地の裏の傾斜地を見て、斜面だから、使えない土地、と即断したのは、機械化以降の感覚によるところもあるのだろう。水平に均された敷地が並ぶ住宅地の真ん中で、すでに放棄され、第三風景化した斜面が目の前にあるとき、かつてありえた利用の可能性を想像することは難しい。

第三風景の概念に沿ってクレマンが展開するプロジェクトのひとつに、「ラベルの庭」がある。サン＝ナゼールにある潜水艦基地の廃墟を、庭として再生するにあたり、屋根の一部を自由に植物が生える場所とし、年に二度、造園・景観整備を学ぶ高校生たちが、植物学者とともに、その区域内の植物をひとつ残らず同定して、ラベルを取りつける、というものだ。

第三風景論は、放棄地の風景を豊かなものとして認識するよう求める。しかし、そもそも、豊かである、と認識するには、そこにいる個々の生物の名前を知らなくては、はじまらない。

名前を知る、とは、そのものの形状や生態を確認していく、ということでもある。生えている草木それぞれの顔かたちと性格を知り、彼らの各々が、時間とともに、移動したり、増えたり、消えたりすることが実感されるとき、ようやく、その場所は、汚い荒地地ではない、多様な生物のひしめく場として現れる。

（笠間直穂子『山影の町から』、出題上の都合により一部改変）

注1 河岸段丘——河川に沿って発達する階段状の地形。

注2 蹴上げ——階段一段の高さ。

注3 ジル・クレマン——一九四三年。フランスの庭師・修景家。

修景は都市計画などで景観を整備すること。

注4 アソシエーション法——一九〇一年に民間の非営利団体（アソ

シエーション）の自由な活動を保障したフランスの法律。

注5 シエース——エマニエル・ヨゼフ・シエイエス。一七四八

一八三六年。フランスの政治家。

注6 極相——変化した植物群集が最終的にあまり変化しない状態。

注7 サン＝ナゼール——フランスの地名。

問一 二重傍線部a・b・cと同じ漢字を用いるものを、次の①～④か

らそれぞれ一つずつ選びなさい。

15 a「ウケオイ」

① 屋根をフシンする

② 選手センセイ

③ セイコウウドク

④ 卒業書証をジユヨする

16 b「カゴ」

① 特技をヒロウする

② 砂上のロウカク

③ 自宅にロウジョウする

④ イロウなく調べる

17 c「アツガミ」

① 議論がハクネツする

② コウガラムチ

③ コヨミの上では春だ

④ シアツ療法

問二 二重傍線部d「野放図」に最も近い意味を持つ言葉を、次の①～

④から一つ選びなさい。

18 ① 整然 ② 情緒的

③ 不条理

④ 無際限

問三 傍線部ア「相当な樹齢と思われる…」と傍線部ウ「さまざまな種

類の植物が…」は問題文全体の中でどのような役割を持つと考えられるか。最も適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

19 ① 多様な生物が息づく様子を細かく描くことで、第三風景を見

過ごしてきた人間の歴史を批判している。

② のちに言及される第三風景の論旨を具体的に表現したもので

あり、問題文の主題の伏線となっている。

③ 自然と人間の共生という要旨に沿う形で、家の裏手の傾斜地

を固有名詞を交えて鮮やかに描いている。

④ 問題文後半で明らかに、欧州の傾斜地の利用法に通じる

自然本来のあり方を序盤で表現している。

問四 傍線部イ「家に接して空き地がある」ことについて、本文の内容

と合致するものはどれか。最も適切なものを次の①～④から一つ選

びなさい。

20 ① 空き地から手軽に果実を得られる利点があるが、それは住民

に生活の変化を強いる開発の余地があることと表裏一体である。

② 空き地の使い方次第では隣接家屋の住環境に大きな影響が生

じるので、近隣住民に配慮した用途を模索しなければならない。

③ 空き地の手入れが行われないことが逆にそこに生育する果実

の鮮度の良さにつながっており、周囲の人々に恩恵をもたらしている。

④ 空き地が急斜面なので今のところ開発される見込みは薄いものの、将来的には建物が建ち、住み心地が変わる可能性が高い。

問五 空白部〔A〕に入る最も適切な言葉を、次の①～④から一つ選びなさい。

- 21 ① 政治思想を切り売りする
② 非営利団体の活動を妨げる
③ 売るよりも思想をばらまく
④ 匿名で消費者を動員する

問六 傍線部「第三風景は、第三身分に依拠する」について、以下の問いに答えなさい。

(1) 「第三風景」の説明として最も適切なものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- 22 ① 生息する動植物の種類が豊富で、その総体が美しいもの。
② そこに住む生物の名前を知らないで見過ぎてしまうもの。
③ 補修や整備が不可欠な都市や農地などには見出せないもの。
④ 同じ状態を保つことなく、すべての生物を受容するもの。

(2) 「第三風景」と「第三身分」の関係はどのようなものか。最も適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

- 23 ① 人工的な全ての場所が「第三風景」であり、それと自然との調和を図るのが「第三身分」者たる人間の役割である。
② 意識されてこなかったものに名前をつけ、集まりとして可視化する点で「第三風景」と「第三身分」は類似関係にある。
③ 「第三身分」に該当する地球市民がこれ以上無用な開発を差し控えることによって、天然の「第三風景」は維持される。
④ 「第三風景」と「第三身分」の共通点は、日常生活の中で見過ごしがちなものを庶民目線で発見する大衆性にある。

問七 空白部〔B〕に入る最も適切な言葉を、次の①～④から一つ選びなさい。

- 24 ① 人間の手が入った土地は、生息する動植物の種類が減る
② 植物の種類が増えれば、その分だけ手入れが必要になる
③ 土地に人が介入しなくなると、生物の種類は減少していく
④ 動植物の種類が多くても、人間の手入れは不可欠である

問八 傍線部「傾斜地への言及」とあるが、自宅の裏手にある「傾斜地」を筆者は当初どのように捉えていたか。最も適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

- 25 ① 植物栽培に向いているが地形的に建造には使えない土地。
② 人の手が入らず、豊かな自然が残った原生林のような土地。
③ 草木が雑然と成育し、手入れが大変で有用性の低い土地。
④ 自治体職員による定期的な手入れが行われる公共の土地。

問九 傍線部「宮沢賢治」の作品を次の①～④から一つ選びなさい。

- 26 ① 三四郎
② ごんぎつね
③ 銀の匙き
④ 風の又三郎

問十

傍線部キ「斜面だから、使えない土地、と即断した」理由として最も適切なものを、次の①～④から一つ選びなさい。

① 機械を使った斜面の整地は環境にかかる負荷が大きく、動物を使った整地の仕方と両立することは難しいから。

② 周りが平地ばかりの住環境にあって、効率を最優先しない土地利用の仕方があることに気づかなかったから。

③ 昔の日本とは全く違い、かつての欧州では家畜の放牧に傾斜地を利用していたことを知らなかったから。

④ 草木の整備は人力によるものとのみ考えて、機械を使った草刈りや枝打ちに想像が及ばなかったから。

問十一

傍線部ク「豊かなもの」とあるが、それはどのようなものか。最も適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

① 創意工夫をこらせば様々な使い方ができる土地として、実用性の観点から見直された土地のありよう。

② 第三風景と名づけることで既存の風景から差異化され、荒地の中に見出された希少な生物たち。

③ 放棄地に生える個々の植物にラベルを付けて保護し、観賞にたえる景観として整えられた状態。

④ 個別の名前や容姿を持った生きものたちが寄り集まり、勝手に気ままに入れかわっていく状態。

問十二

問題文の内容と合致するものを、次の①～④から一つ選びなさい。

① サン＝ナゼールで展開された「ラベルの庭」は、廃墟を庭として再生する試みであっただけではない。いまだ何者でもない、しかし何者かになるうとする人々の自立した運動であつたという点で、それは特筆すべき社会運動でもあつたのだ。

② ジル・クレマン『第三風景宣言』の主張によると、筆者の家の裏手にある細長い斜めの土地は第三風景になりつつある。そのため所有する市には、本来の自然な美しさを損なわないよう配慮しつつその潜在価値を高める難しい役割がもとめられる。

③ 都市・郊外・農村といった既存の区分けとは異なる区分けを示すのが第三風景論だ。それは、人間の手が入っているか否かですべての場所を区分し、場所や土地への人為の介入が何をもちたってきたのかを再考する土台となる議論と言えよう。

④ かつて欧州では、農用地として整備する必要から傾斜地にヤギやウシを放し飼いにしていた。しかし、農作業が機械化されて家畜を使った整地の必要がなくなると、土地と設備と手間暇が必要な放牧そのものが衰退していったという歴史がある。

III

次の問題文は『蜻蛉日記』の一節で、病を得た夫兼家の懇願により、作者がひそかに兼家邸を訪れる場面である。これを読み、後の問いに答えなさい。

(注1) 読経修法などして、いささかおこたりたるやうなれば、案のごと、みづから返りごとす。「いとあやしう、おこたるともなくて日を経るに、いと惑はれしことはなければ」^aやあらむ、おぼつかなきこと」など、ひとまにこまごまと書いてあり。「ものおぼえにたれば、あらはになどもあるべうもあらぬを、夜のまに渡れ。かくてのみ日を経れば」などあるを、人はいかがは思ふべきなど思へど、われもまたいとおぼつかなきに、たちかへりおなじことのみあるを、いかがはせむとて、「車を給へ」と言ひたれば、さし離れたる廊のかたに、いとようとりなししつらひて、端に待ち臥したりけり。火ともしたる、かい消たせて降りたれば、いと暗うて、入らむかたも知らねば、「あやし、ここにぞある」とて、手を取りて導く。「¹など、かう久しうはありつる」とて、日ごろありつるやう、くづし語らひて、とばかりあるに、「火ともしつけよ。いと暗し。¹」さらにうしろめたなくはな思しそ」とて、屏風のうしろに、ほのかにともしたり。(中略)

さて、夜は明けぬるを、「人など召せ」と言へば、「なにか。まだいと暗からむ。しばし」とてあるほどに、明うなれば、をのこども呼びて、^(注4) 部上げさせて見つ。「見たまへ、草どもはいかが植ゑたる」とて、見出だしたるに、「いとかたはなるほどになりぬ」など急げば、「なにか。いまは粥などまゐりて」とあるほどに、昼になりぬ。さて、「いぎ、もろともに帰らなむ。^エ」または、ものしかるべし」などあれば、「かくまゐり来たるをだに、人いかにと思ふに、御迎へなりけりと見ば、いとうたて

ものしからむ」と言へば、「さらば。をのこども、車寄せよ」とて、寄せたれば、乗るところにもかつがつと歩み出でたれば、いとあはれと見る見る、「いつか、御ありきは」など言ふほどに、涙うきにけり。^c「いと心もとなければ、明日明後日のほどばかりにはまゐりなむ」とて、いとさうさうしげなる気色なり。すこし引き出でて、牛かくるほどに見通せば、ありつるところに歸りて、見おこせて、つくづくとあるを見つつ引き出づれば、心にもあらで、かへりみのみぞせらるるかし。

さて、昼つかた、文あり。なにくれと書いて、
(X) かぎりかと思ひつつ来しほどよりもなかなかなるは侘しかりけり
返りごと、「なほいと苦しげに思したりつれば、いまもいとおぼつかなくなむ。なかなかは、
(注6) (Y) われもさぞのどけきとこのうらならでかへる波路はあやしかりけり

さて、なほ苦しげなれど、念じて、二三日のほどに見えたり。やうやう例のやうになりもてゆけば、例のほどに通ふ。

注1 読経修法——「読経」は声に出して経文を読むこと。「修法」

は密教で、病氣や災難などを取り除くための儀式のこと。

注2 廊——建物と建物とをつなぐ、屋根のついた通路のこと。部屋が設けられている場合もあった。

注3 屏風——室内に立てて風をさえぎったり、仕切りや装飾に用いたりする調度のこと。

注4 部——内側に板を張った戸のこと。

注5 かたはなる——きまりが悪い、みつともないこと。

注6 とこのうら——近江国の歌枕で、琵琶湖にあった浦のこと。

問一 二重傍線部 a～d の文法的説明の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- 30
- | | | |
|---|----------|-----------|
| ① | a 助詞 | b 形容動詞の一部 |
| c | 完了の助動詞 | d 断定の助動詞 |
| ② | a 助詞 | b 完了の助動詞 |
| c | 動詞の一部 | d 断定の助動詞 |
| ③ | a 断定の助動詞 | b 完了の助動詞 |
| c | 動詞の一部 | d 助詞 |
| ④ | a 断定の助動詞 | b 形容動詞の一部 |
| c | 完了の助動詞 | d 助詞 |

問二 波線部 1「など」の文法的説明として最も適切なものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- 31
- | | | |
|---|----------|------------|
| ① | 不可能を表す副詞 | ② 疑問を表す副詞 |
| ③ | 例示を表す助詞 | ④ 詠嘆を表す感動詞 |

問三 波線部 2「植ゑ」と同じ活用をするものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- 32
- | | | | | |
|---|----|------|------|------|
| ① | 居る | ② 蹴る | ③ 老ゆ | ④ 据う |
|---|----|------|------|------|

問四 傍線部 ア・イ・エ・カの意味として最も適切なものを、次の①～④からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- 33
- ア「ものおぼえにたれば、あらはになどもあるべうもあらぬを、夜のまに渡れ」

- ① 物覚えが悪くなったので、はっきりと認識できるわけではないが、夜の間に手紙をよこしなさい
- ② 物覚えが悪くなったので、表立ってというわけにはいかないだろうが、夜の間に手紙をよこしなさい
- ③ 意識がしっかりしてきたので、表立ってというわけにはいかないだろうが、夜の間に訪ねて来なさい
- ④ 意識がしっかりしてきたので、まだはっきりと認識できるわけではないが、夜の間に訪ねて来なさい

- 34
- イ「さらにうしろめたくなはな思しそ」

- ① けっして不安に思いなさるな
- ② もちろん不安に思うことはない
- ③ いまさら不満に思いなさるな
- ④ それほど不満に思うことはない

- 35
- エ「または、ものしかるべし」

- ① それでも、ちょうどよい日がないので
- ② それでも、あなたがいやだろうから
- ③ 再びあなたの家に通うのがよいだろう
- ④ 再びここに来るのは、いやだろうから

- 36
- カ「さうざうしげなる」

- ① さびしそうな
- ② うるさそうな
- ③ 落ち着かない
- ④ ひどく不機嫌な

問五

傍線部ウ「草ども」は庭前に植え込まれた草花のことと考えられる。そのような草花を何と呼ぶか。最も適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

- 37 ① こたち ② すいがい ③ まがき ④ せんざい

問六

傍線部オ「御迎へなりけりと見ば、いとうたてものしからむ」と思ったのはなぜか。最も適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

- 38 ① ただでさえ病氣療養中の夫が妻の家に外向くことは非常識なのに、作者が兼家を迎え入れたと周囲の人々に思われたら、非難されるに違いないから。

② ただでさえ妻が夫の家にみずから外向くことは非常識なのに、作者が病氣療養中の兼家を迎えに行ったと周囲の人々に思われたら、非難されるに違いないから。

③ ただでさえ病氣療養中の夫が妻と対面することは非常識なのに、兼家が作者を迎えに行ったと周囲の人々に思われたら、非難されるに違いないから。

④ ただでさえ妻が夫の家にみずから外向くことは非常識なのに、二日続けて作者が兼家邸を訪れたと周囲の人々に思われたら、非難されるに違いないから。

問七

(X)の和歌の下句「なかなかなるは侘しかりけり」には、どのような心情がこめられているか。最も適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

- 39 ① なまじつか逢うことができたばかりに、かえってやるせなく思う心情。

② なまじつか逢うことができなかったばかりに、かえっていとしく思う心情。

③ ようやく回復してきたものの、当分は逢えないので再会を待ちわびる心情。

④ ようやく回復してきたものの、当分は外出できずにやるせなく思う心情。

問八

(Y)の和歌の説明として最も適切なものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- 40 ① 「とこの浦」に「心の裏」の意味を、「波路」に「涙」の意味を掛け、兼家の本心を知って涙がとまらないと慨嘆する。

② 「とこの浦」に「心の裏」の意味を、波が「返る」ことに「帰る」意味を掛け、本心では兼家を帰したくなかったと慨嘆する。

③ 「とこの浦」に「寝床」の意味を、波が「返る」ことに「帰る」意味を掛け、ゆつくり過ごせずに帰るのは切ないと慨嘆する。

④ 「とこの浦」に「寝床」の意味を、「波路」に「涙」の意味を掛け、病床に臥す兼家の姿を目にして涙がとまらなさと慨嘆する。

問題文の内容に合致するものを、次の①～④から一つ選びなさい。

い。

- ① 長い間兼家からの連絡がないことに腹を立てた作者は、みずから車の手配をして、夜のうちに兼家邸に駆けつけた。

② 作者が退去する際、兼家は寂しそうに作者の乗る車を見送っていたので、思わず何度も後ろを振り返ってしまった。

③ 夜が明けたので作者は帰りを急いだが、兼家に何度も引き止められ、結局帰宅できないままその日も泊まってしまった。

④ 兼家は作者に対して、明日か明後日頃には参上しようと約束したが、和歌を贈っただけで訪れることはなかった。

問十 『蜻蛉日記』以前に成立した作品を、次の①～④から一つ選ぶな

さい。

- ④ 大鏡

③ 土佐日記

② 紫式部日記

① 方丈記

国語の問題はここまです

